

# 佐川町男女共同参画に関する住民意識調査 及び事業所実態調査

## 結果概要

○ 調査時期 令和6年9月20日～11月22日

### (1) 男女共同参画に関する住民意識調査

調査対象 町内在住の満18歳以上の男女

配布数 1,000件

有効回答数 311件(女性167件、男性132件、その他1件、無回答11件)

有効回収率 31.1%

### (2) 男女共同参画に関する事業所実態調査

調査対象 町内に事業所を有する企業・事業所

配布数 100件

有効回答数 61件

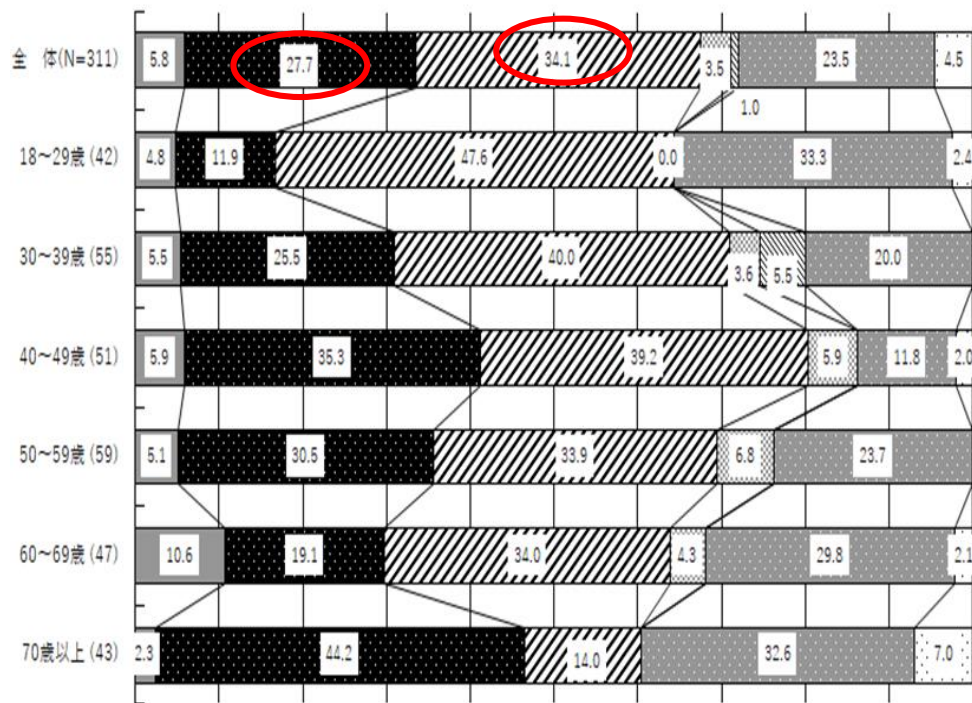
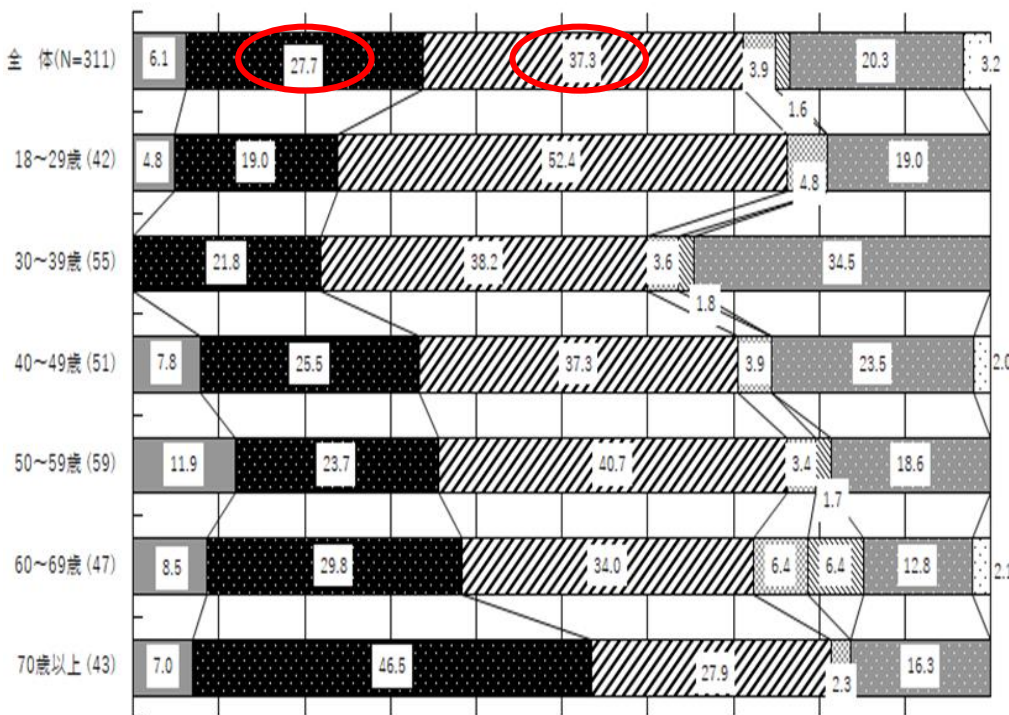
有効回収率 61.0%

『平等』が多く回答されている

問9 男女の地位 ①家庭生活では  
全体で「平等になっている」が37.3%、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は27.7%である。

問9 男女の地位 ②職場では  
全体で「平等になっている」が34.1%、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は27.7%である。

男性の方が非常に優遇されている
  どちらかといえば男性の方が優遇されている
  平等になっている
  無回答
   
 どちらかといえば女性の方が優遇されている
  女性の方が非常に優遇されている
  わからない
  無回答



問9 男女の地位 ①家庭生活では

	全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
H25	399	23	137	137	13	3	65	21
	100.0	5.8	34.3	34.3	3.3	0.8	16.3	5.3
H30	381	26	125	130	14	7	68	11
	100.0	6.8	32.8	34.1	3.7	1.8	17.8	2.9
R6	311	19	86	116	12	5	63	10
	100.0	6.1	27.7	37.3	3.9	1.6	20.3	3.2

問9 男女の地位 ②職場では

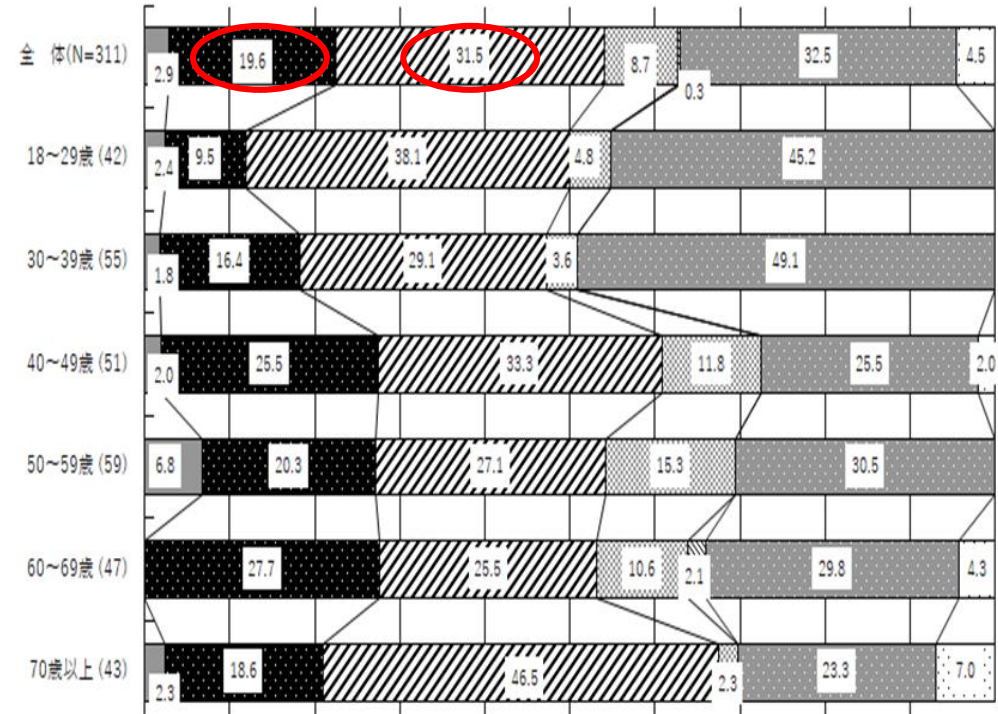
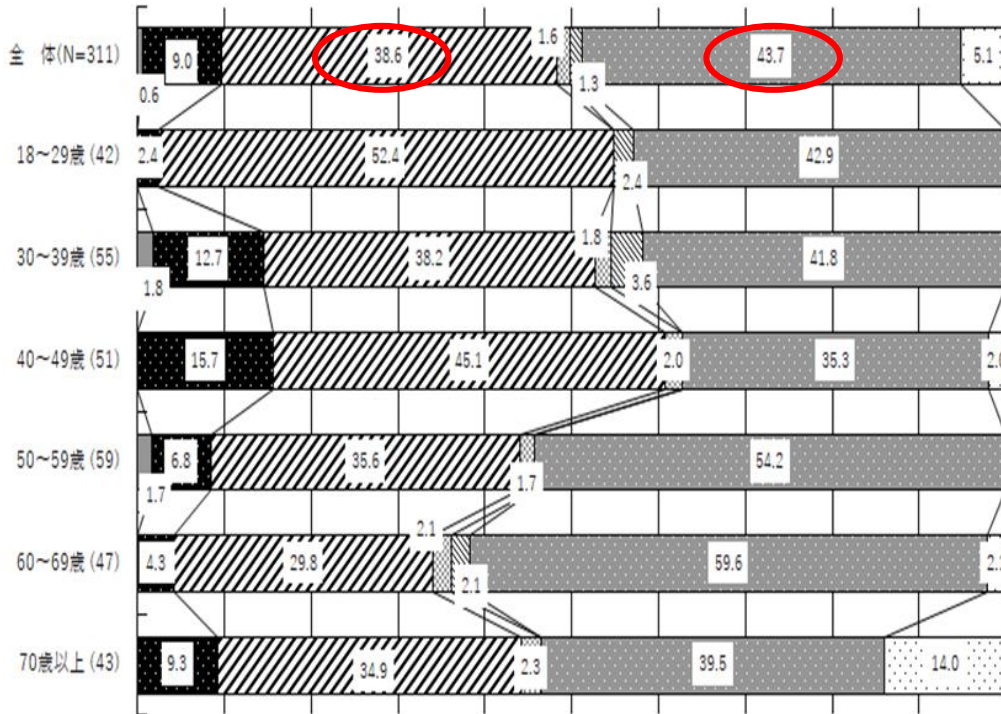
	全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
H25	399	19	124	94	9	0	112	41
	100.0	4.8	31.1	23.6	2.3	0.0	28.1	10.3
H30	381	17	118	120	19	6	82	19
	100.0	4.5	31.0	31.5	5.0	1.6	21.5	5.0
R6	311	18	86	106	11	3	73	14
	100.0	5.8	27.7	34.1	3.5	1.0	23.5	4.5

『平等』が多く回答されている

問9 男女の地位 ③学校教育の場では  
全体で「平等になっている」が38.6%と多いが、「わからない」も43.7%回答されている。

問9 男女の地位 ④地域活動の中では  
全体で「平等になっている」が31.5%、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は19.6%である。

男性の方が非常に優遇されている
  どちらかといえば男性の方が優遇されている
  平等になっている
  どちらかといえば女性の方が優遇されている
  女性の方が非常に優遇されている
  わからない
  無回答



	全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
H25	399	7	26	166	9	0	147	44
H30	381	1.8	6.5	41.6	2.3	0.0	36.8	11.0
R6	311	0.6	9.0	38.6	1.6	1.3	43.7	5.1

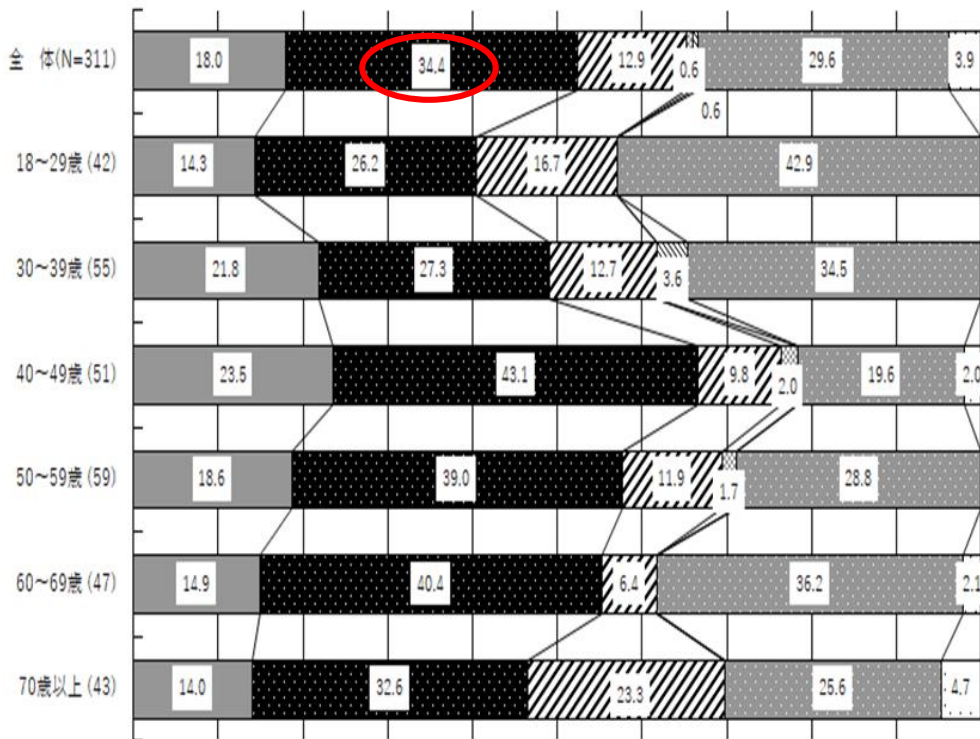
	全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
H25	399	11	102	125	11	0	112	38
H30	381	2.8	25.6	31.3	2.8	0.0	28.1	9.5
R6	311	2.9	19.6	31.5	8.7	0.3	32.5	4.5

どちらも『男性優遇』が多い

問9 男女の地位 ⑤議会や政治の場では  
全体で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が34.4%と多い。

問9 男女の地位 ⑥法律や制度の上では  
全体で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が29.6%、「平等になっている」は26.0%である。

男性の方が非常に優遇されている
  どちらかといえば男性の方が優遇されている
  平等になっている
  どちらかといえば女性の方が優遇されている
  女性の方が非常に優遇されている
  わからない
  無回答



	全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
H25	399	49	151	55	1	0	108	35
	100.0	12.3	37.8	13.8	0.3	0.0	27.1	8.8
H30	381	51	162	44	3	-	109	12
	100.0	13.4	42.5	11.5	0.8	-	28.6	3.1
R6	311	56	107	40	2	2	92	12
	100.0	18.0	34.4	12.9	0.6	0.6	29.6	3.9



	全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
H25	399	24	103	128	14	1	95	34
	100.0	6.0	25.8	32.1	3.5	0.3	23.8	8.5
H30	381	25	116	105	8	2	109	16
	100.0	6.6	30.4	27.6	2.1	0.5	28.6	4.2
R6	311	27	92	81	7	5	86	13
	100.0	8.7	29.6	26.0	2.3	1.6	27.7	4.2

社会全体では『男性優遇』が多い

問9 男女の地位 ⑦社会通念やしきたり・慣習では  
全体で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が43.1%、  
「平等になっている」は14.1%である。

■ 男性の方が非常に優遇されている ■ どちらかといえば男性の方が優遇されている ▨ 平等になっている  
▩ どちらかといえば女性の方が優遇されている ▨ 女性の方が非常に優遇されている □ わからない □ 無回答



	全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
H25	399	42	195	56	9	0	67	30
	100.0	10.5	48.9	14.0	2.3	0.0	16.8	7.5
H30	381	52	191	51	6	-	67	14
	100.0	13.6	50.1	13.4	1.6	-	17.6	3.7
R6	311	47	134	44	5	2	68	11
	100.0	15.1	43.1	14.1	1.6	0.6	21.9	3.5

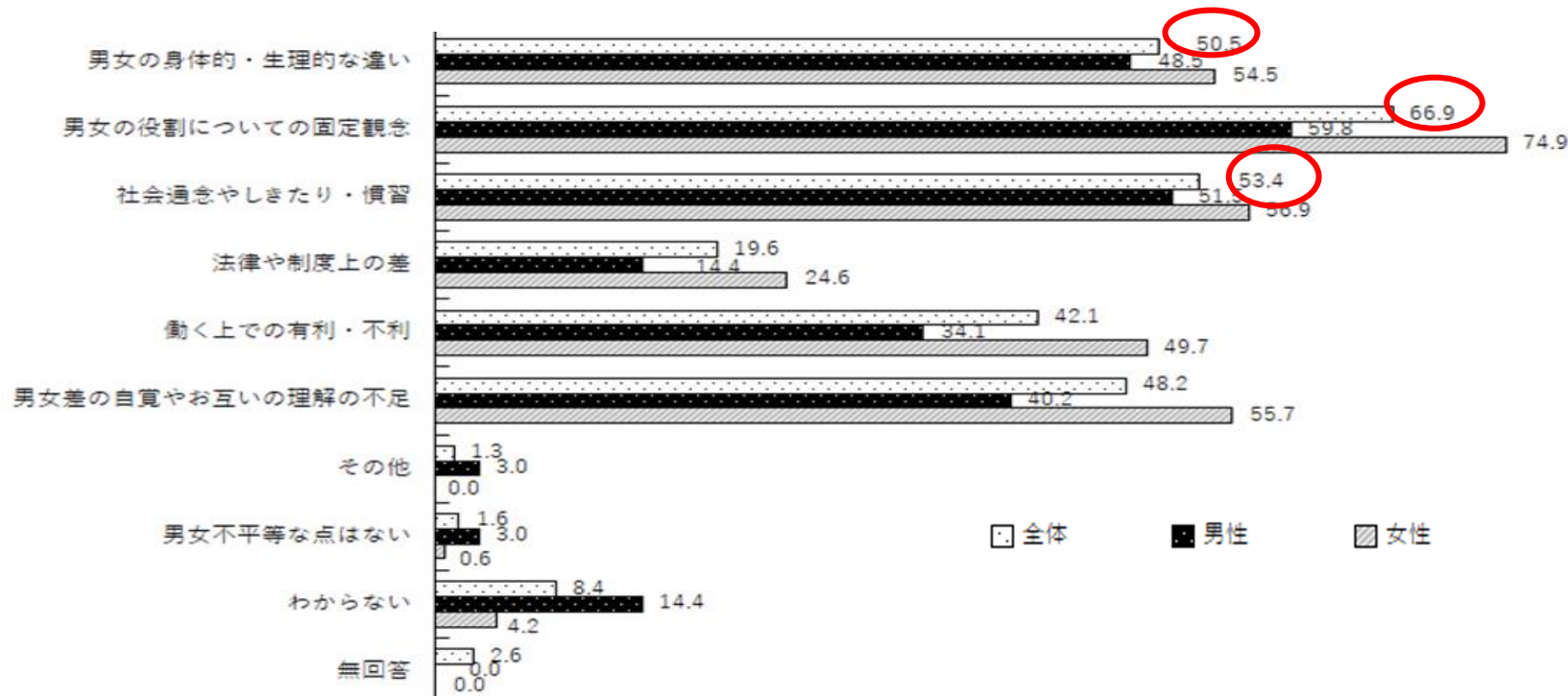
問9 男女の地位 ⑧社会全体としては  
全体で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が  
47.3%と半数近くを占め、「平等になっている」は15.1%で  
ある。



	全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
H25	399	24	187	76	13	1	70	28
	100.0	6.0	46.9	19.0	3.3	0.3	17.5	7.0
H30	381	29	196	62	7	-	73	14
	100.0	7.6	51.4	16.3	1.8	-	19.2	3.7
R6	311	21	147	47	13	4	69	10
	100.0	6.8	47.3	15.1	4.2	1.3	22.2	3.2

「男女の役割についての固定観念」が多い

全体では、「男女の役割についての固定観念」が66.9%と最も多く、「社会通念やしきたり・慣習」が53.4%、「男女の身体的・生理的な違い」が50.5%と続いている。  
 男女別では、「男女の役割についての固定観念」、「社会通念やしきたり・慣習」、「法律や制度上の差」と「男女差の自覚やお互いの理解の不足」は女性の方が多く回答されている。



	全 体	男女の身体的・生理的な違い	男女の役割についての固定観念	社会通念やしきたり・慣習	法律や制度上の差	働く上での有利・不利	男女差の自覚やお互いの理解の不足	その他	男女不平等な点はない	わからない	無回答
H25	399 100.0	181 45.4	227 56.9	208 52.1	62 15.5	163 40.9	146 36.6	4 1.0	11 2.8	36 9.0	12 3.0
H30	381 100.0	177 46.5	251 65.9	205 53.8	69 18.1	158 41.5	172 45.1	1 0.3	2 0.5	23 6.0	10 2.6
R6	311 100.0	157 50.5	208 66.9	166 53.4	61 19.6	131 42.1	150 48.2	4 1.3	5 1.6	26 8.4	8 2.6

①では『平等』が多い

問13 職場での男女の扱い ①募集・採用では

全体で「ほぼ平等になっている」が47.6%と多く、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は20.3%である。

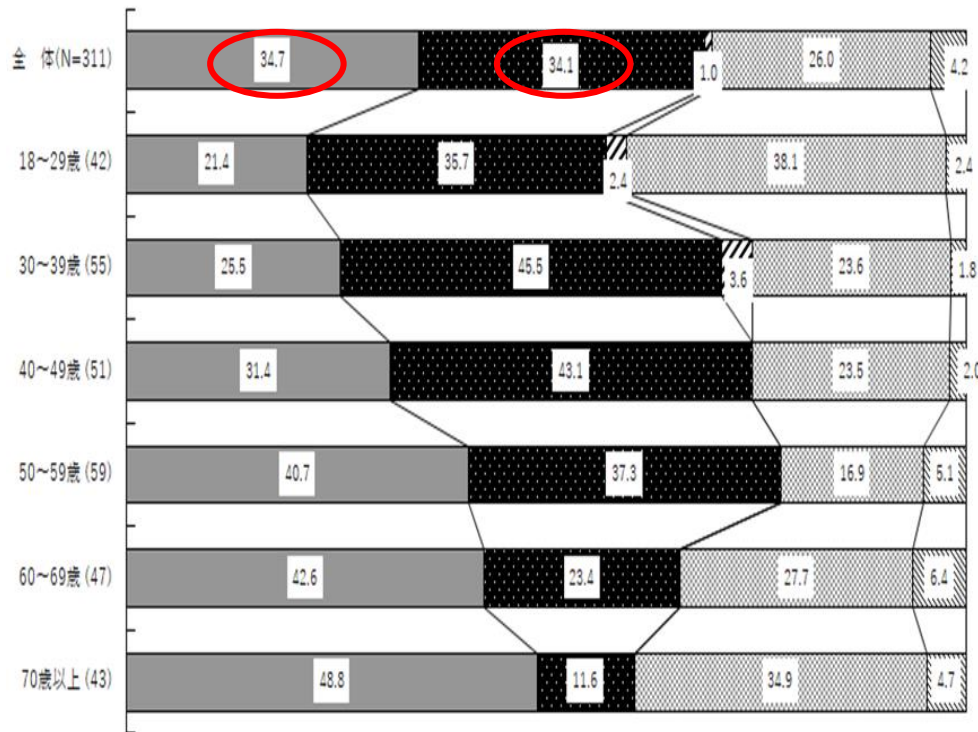
■ どちらかといえば男性の方が優遇されている ■ ほぼ平等になっている



問13 職場での男女の扱い ②賃金・昇給では

全体で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が34.7%と多く、「ほぼ平等になっている」は34.1%である。

■ どちらかといえば男性の方が優遇されている ■ ほぼ平等になっている ■ どちらかといえば女性の方が優遇されている ■ わからない ■ 無回答



	全体	どちらかといえば男性の方が優遇されている	ほぼ平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	わからない	無回答
H25	399	119	152	9	87	32
	100.0	29.8	38.1	2.3	21.8	8.0
H30	381	111	174	3	77	16
	100.0	29.1	45.7	0.8	20.2	4.2
R6	311	63	148	6	81	13
	100.0	20.3	47.6	1.9	26.0	4.2

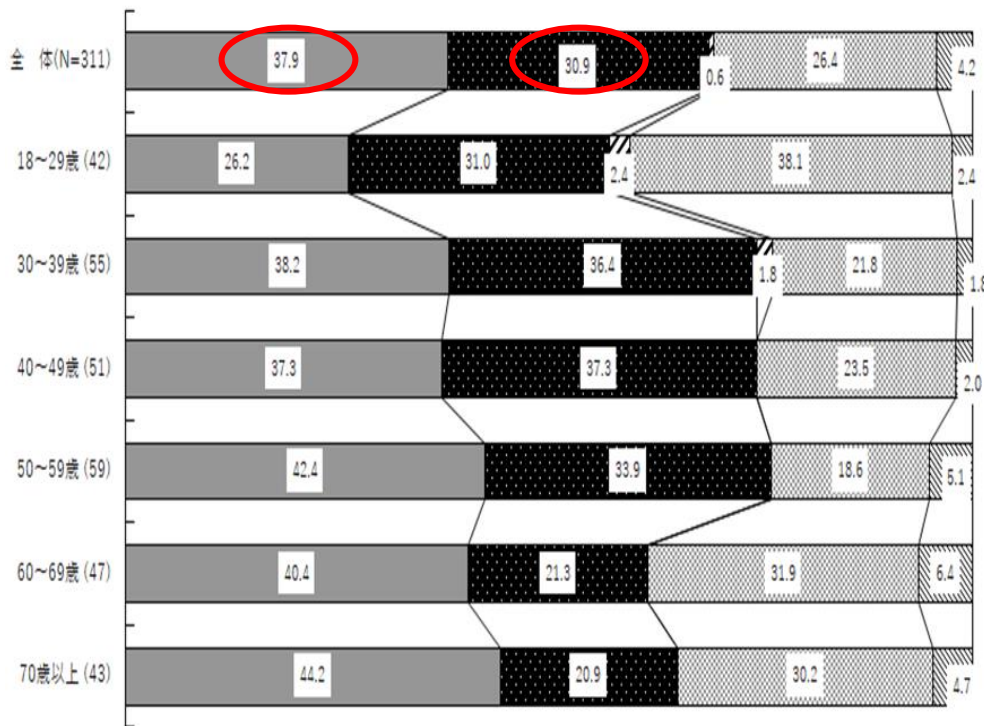
	全体	どちらかといえば男性の方が優遇されている	ほぼ平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	わからない	無回答
H25	399	178	96	0	85	40
	100.0	44.6	24.1	0.0	21.3	10.0
H30	381	157	140	1	66	17
	100.0	41.2	36.7	0.3	17.3	4.5
R6	311	108	106	3	81	13
	100.0	34.7	34.1	1.0	26.0	4.2

③では『男性優遇』が多い

問13 職場での男女の扱い ③昇進や昇格では

全体で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が37.9%と多く、「ほぼ平等になっている」は30.9%である。

■ どちらかといえば男性の方が優遇されている ■ ほぼ平等になっている



問13. 職場での男女の扱い③昇進や昇格						
	全体	どちらかといえば男性の方が優遇されている	ほぼ平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	わからない	無回答
H25	399	190	77	1	92	39
	100.0	47.6	19.3	0.3	23.1	9.8
H30	381	160	131	-	72	18
	100.0	42.0	34.4	-	18.9	4.7
R6	311	118	96	2	82	13
	100.0	37.9	30.9	0.6	26.4	4.2

問13 職場での男女の扱い ④仕事の内容では

全体で「ほぼ平等になっている」が37.9%と多く、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は22.5%である。

■ どちらかといえば女性の方が優遇されている ■ ほぼ平等になっている



問13. 職場での男女の扱い④仕事の内容						
	全体	どちらかといえば女性の方が優遇されている	ほぼ平等になっている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	わからない	無回答
H25	399	105	130	21	104	39
	100.0	26.3	32.6	5.3	26.1	9.8
H30	381	99	177	24	67	14
	100.0	26.0	46.5	6.3	17.6	3.7
R6	311	70	118	22	86	15
	100.0	22.5	37.9	7.1	27.7	4.8

どちらも『平等』が多い

問13 職場での男女の扱い ⑤退職や解雇では

全体で「ほぼ平等になっている」が45.3%と多く、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は13.5%である。

■ どちらかといえば男性の方が優遇されている ■ ほぼ平等になっている



問13. 職場での男女の扱い⑤退職や解雇

	全体	どちらかといえば男性の方が優遇されている	ほぼ平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	わからない	無回答
H25	399	80	139	5	128	47
	100.0	20.1	34.8	1.3	32.1	11.8
H30	381	57	191	4	112	17
	100.0	15.0	50.1	1.0	29.4	4.5
R6	311	42	141	7	105	16
	100.0	13.5	45.3	2.3	33.8	5.1

問13 職場での男女の扱い ⑥能力評価・査定では

全体で「ほぼ平等になっている」が46.3%と多く、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は22.2%である。

■ どちらかといえば女性の方が優遇されている ■ ほぼ平等になっている



問13. 職場での男女の扱い⑥能力評価・査定

	全体	どちらかといえば女性の方が優遇されている	ほぼ平等になっている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	わからない	無回答
H25	399	107	145	1	99	47
	100.0	26.8	36.3	0.3	24.8	11.8
H30	381	94	179	2	91	15
	100.0	24.7	47.0	0.5	23.9	3.9
R6	311	69	144	6	77	15
	100.0	22.2	46.3	1.9	24.8	4.8

どちらも『平等』が多い

問13 職場での男女の扱い ⑦教育や研修では  
全体で「ほぼ平等になっている」が58.5%と多く、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は10.0%である。

問13 職場での男女の扱い ⑧有給休暇の取得では  
全体で「ほぼ平等になっている」が57.9%と多くなっている。

■ どちらかといえば男性の方が優遇されている ■ ほぼ平等になっている ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている □ わからない ▫ 無回答



問13. 職場での男女の扱い⑦教育訓練や研修

	全体	どちらかといえば男性のほうが優遇されている	ほぼ平等になっている	どちらかといえば女性のほうが優遇されている	わからない	無回答
H25	399	49	193	2	104	51
	100.0	12.3	48.4	0.5	26.1	12.8
H30	381	44	240	4	78	15
	100.0	11.5	63.0	1.0	20.5	3.9
R6	311	31	182	3	80	15
	100.0	10.0	58.5	1.0	25.7	4.8

問13. 職場での男女の扱い⑧有給休暇の取得

	全体	どちらかといえば男性のほうが優遇されている	ほぼ平等になっている	どちらかといえば女性のほうが優遇されている	わからない	無回答
H25	399	15	190	49	99	46
	100.0	3.8	47.6	12.3	24.8	11.5
H30	381	20	236	35	77	13
	100.0	5.2	61.9	9.2	20.2	3.4
R6	311	9	180	29	79	14
	100.0	2.9	57.9	9.3	25.4	4.5

現実の優先度は『仕事』が多い

問14 ①希望する(理想とする)優先度では

全体で「仕事・家庭生活・プライベートな時間をともに優先したい」が32.5%、「家庭生活とプライベートな時間をともに優先したい」は17.0%、「プライベートな時間を優先したい」は15.1%である。

■ 仕事を優先 ■ 家庭生活を優先  
 ▨ 仕事とプライベートを優先 ■ 家庭生活とプライベートを優先

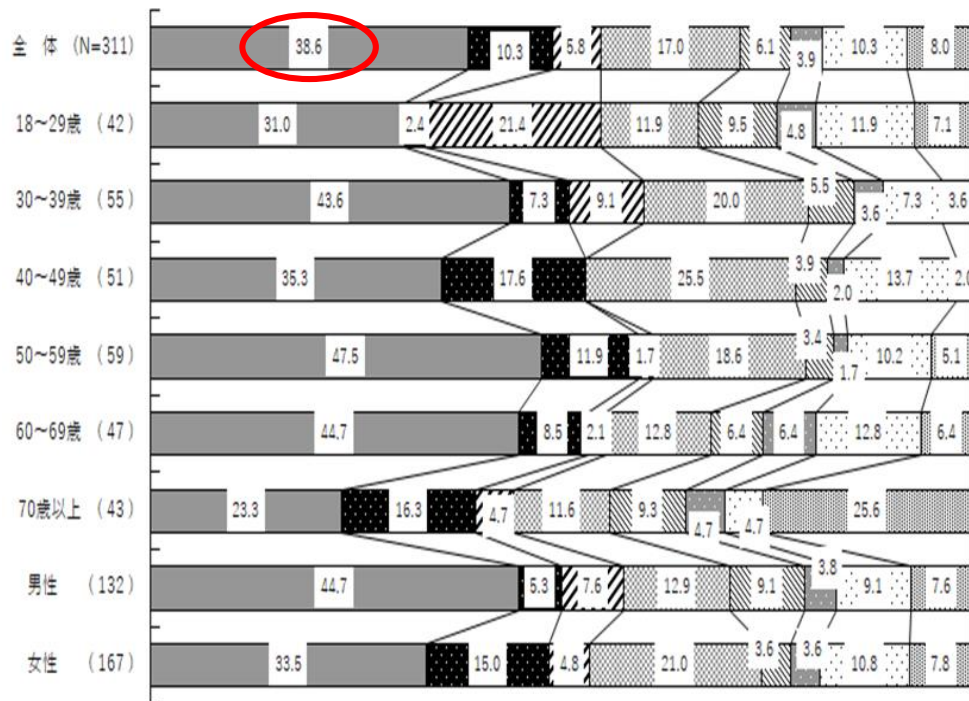


	全体	仕事優先	家庭生活優先	プライベートな時間を優先	仕事と家庭生活をともに優先	仕事とプライベートな時間をともに優先	家庭生活とプライベートな時間をともに優先	仕事・家庭生活・プライベートな時間をともに優先	無回答
H25	399	18	61	20	95	23	44	121	17
H30	381	17	40	43	47	35	57	134	8
R6	311	8	27	47	38	23	53	101	14
	100.0	2.6	8.7	15.1	12.2	7.4	17.0	32.5	4.5

問14 ②実際の(現実の)優先度では

全体で「仕事を優先している」が38.6%、「仕事と家庭生活をともに優先している」は17.0%、「仕事・家庭生活・プライベートな時間をともに優先している」は10.3%である。

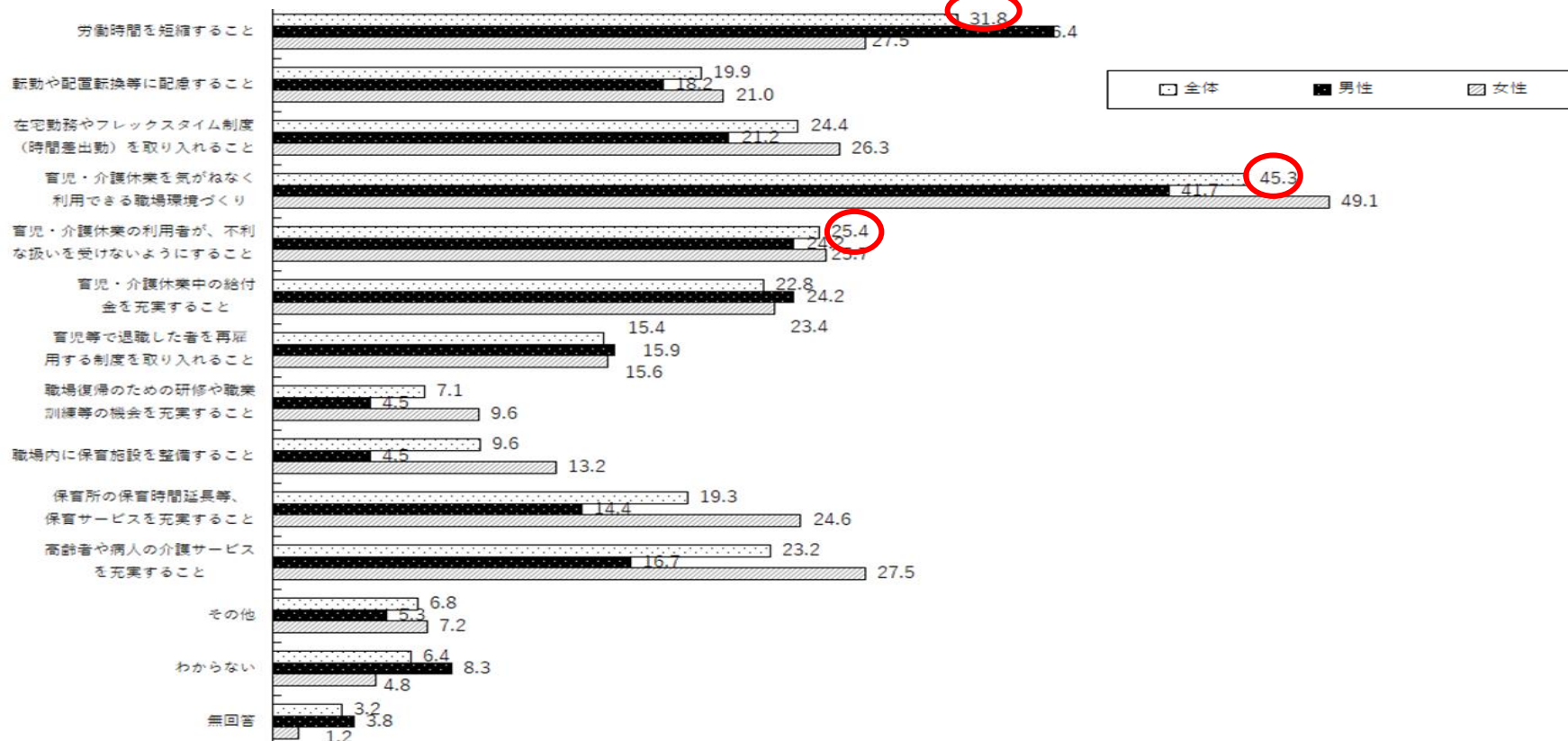
■ 仕事を優先 ■ 家庭生活を優先  
 ▨ 仕事とプライベートを優先 ■ 家庭生活とプライベートを優先  
 □ プライベートを優先 □ 仕事と家庭生活を優先  
 □ 仕事・家庭生活・プライベートを優先 □ 無回答



	全体	仕事優先	家庭生活優先	プライベートな時間を優先	仕事と家庭生活をともに優先	仕事とプライベートな時間をともに優先	家庭生活とプライベートな時間をともに優先	仕事・家庭生活・プライベートな時間をともに優先	無回答
H25	399	137	58	21	78	19	26	29	31
H30	381	148	46	14	71	33	8	47	14
R6	311	120	32	18	53	19	12	32	25
	100.0	38.6	10.3	5.8	17.0	6.1	3.9	10.3	8.0

「育児・介護休業を気がねなく利用できる職場環境づくり」が多い

全体では、「育児・介護休業を気がねなく利用できる職場環境づくり」が45.3%と最も多く、次いで「労働時間を短縮すること」が31.8%、「育児・介護休業の利用者が、不利な扱いを受けないようにすること」が25.4%と続いている。

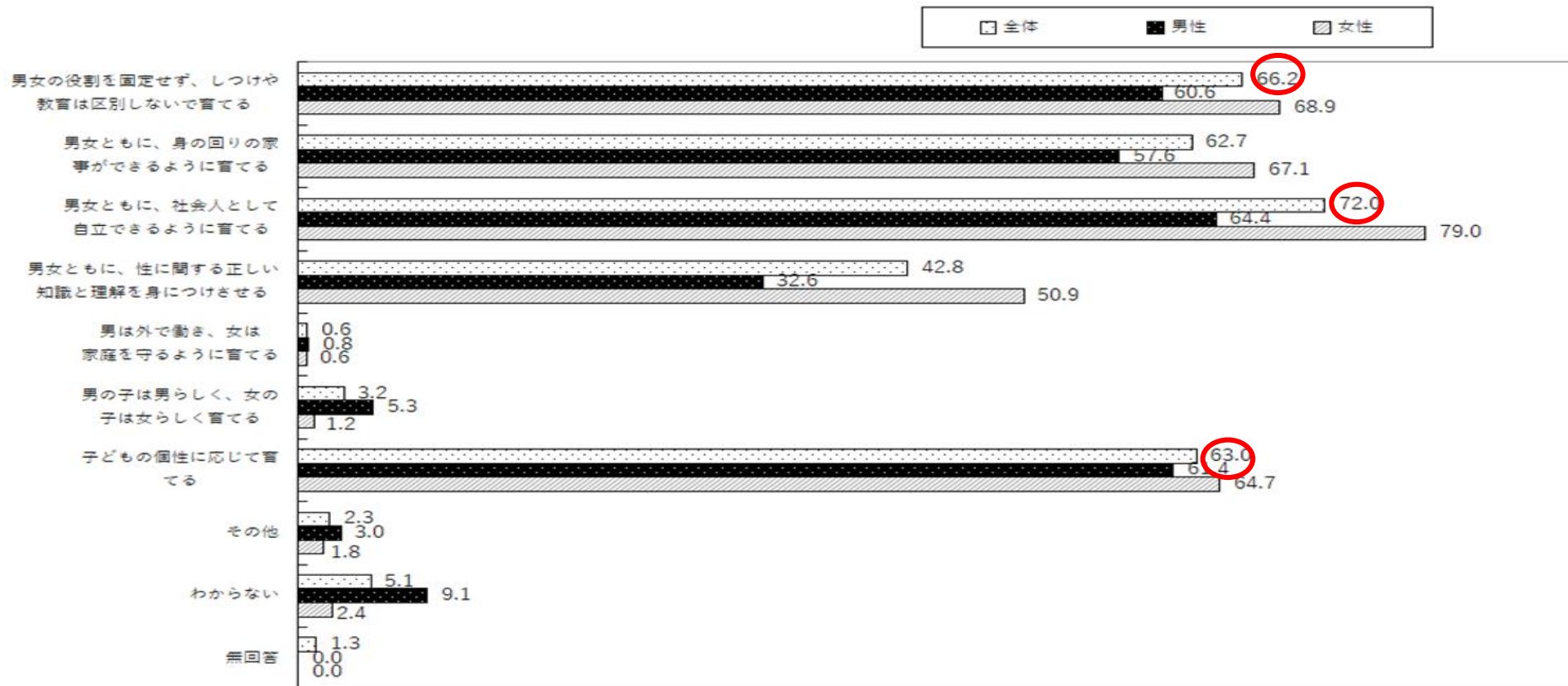


問15. 仕事と家庭の両立に必要なと思うこと(複数回答)

	全体	労働時間を短縮すること	転勤や配置転換などに配慮すること	在宅勤務やフレックスタイム制度（時間差出勤）を取り入れること	育児・介護休業を気がねなく利用できる職場環境づくり	育児・介護休業の利用者が、不利な扱いを受けないようにすること	育児・介護休業中の給付金を充実すること	育児などで退職した者を再雇用する制度を取り入れること	職場復帰のための研修や職業訓練などの機会を充実すること	職場内に保育施設を整備すること	保育所の保育時間延長など、保育サービスを充実すること	高齢者や病人の介護サービスを充実すること	その他	わからない	無回答
H25	399	91 22.8	79 19.8	60 15.0	195 48.9	94 23.6	56 14.0	103 25.8	41 10.3	40 10.0	100 25.1	144 36.1	12 3.0	14 3.5	10 2.5
H30	381	109 28.6	82 21.5	65 17.1	193 50.7	84 22.0	62 16.3	67 17.6	35 9.2	41 10.8	70 18.4	96 25.2	10 2.6	28 7.3	7 1.8
R6	311	99 31.8	62 19.9	76 24.4	141 45.3	79 25.4	71 22.8	48 15.4	22 7.1	30 9.6	60 19.3	72 23.2	21 6.8	20 6.4	10 3.2

「男女ともに、社会人として自立できるように育てる」が多い

全体では、「男女ともに、社会人として自立できるように育てる」が72.0%と最も多く、次いで「男女の役割を固定せず、しつけや教育は区別しないで育てる」は66.2%、「子どもの個性に応じて育てる」は63.0%である。



問18. 子どもの育て方について（複数回答）

	全 体	男女の役割を固定せず、しつけや教育は区別しないで育てる	男女ともに、身の回りの家事ができるように育てる	男女ともに、社会人として自立できるように育てる	男女ともに、性に関する正しい知識と理解を身につけさせる	男は外で働き、女は家庭を守るように育てる	男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる	子どもの個性に応じて育てる	その他	わからない	無回答
H25	399	259 64.9	267 66.9	327 82.0	175 43.9	13 3.3	94 23.6	244 61.2	2 0.5	6 1.5	7 1.8
H30	381	226 59.3	218 57.2	270 70.9	131 34.4	5 1.3	37 9.7	219 57.5	4 1.0	19 5.0	11 2.9
R6	311	206 66.2	195 62.7	224 72.0	133 42.8	2 0.6	10 3.2	196 63.0	7 2.3	16 5.1	4 1.3

『反対』が多い

全体では、「反対」が58.8%、「どちらかといえば反対」は21.2%である。年代別では、30～39歳で「反対」が70.9%、50～59歳で67.8%と多い。

「賛成」「どちらかといえば賛成」とする割合は減少している。

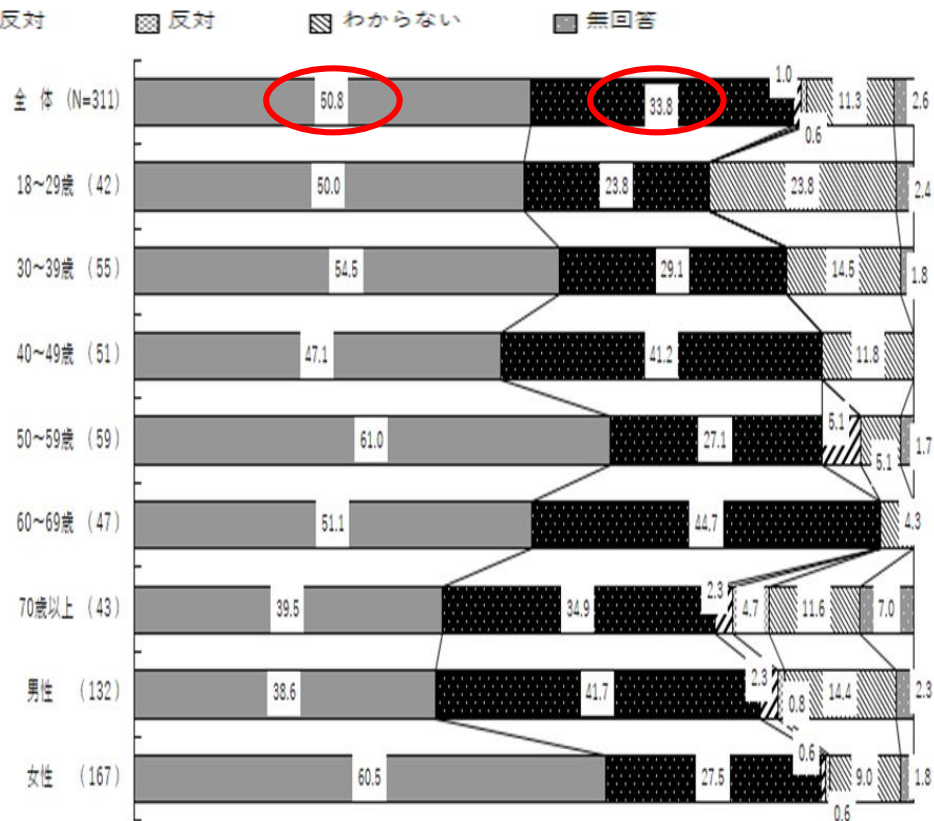
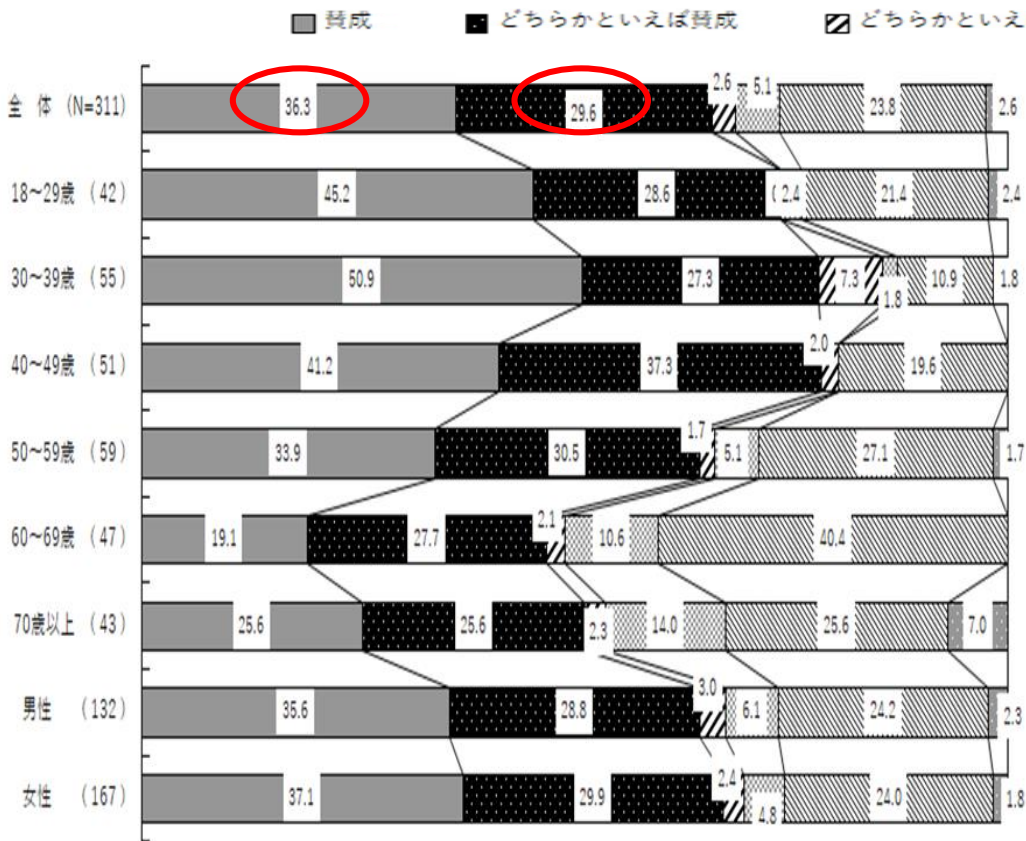


	全体	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらかといえ ば反対	反対	わからない	無回答
H25	399	19	78	120	125	37	20
	100.0	4.8	19.5	30.1	31.3	9.3	5.0
H30	381	5	43	103	173	42	15
	100.0	1.3	11.3	27.0	45.4	11.0	3.9
R6	311	2	23	66	183	29	8
	100.0	0.6	7.4	21.2	58.8	9.3	2.6

### どちらも『賛成』が多い

⑥では、全体で「賛成」36.3%、「どちらかといえば賛成」は29.6%。

⑦では、「賛成」が50.8%、「どちらかといえば賛成」は33.8%。

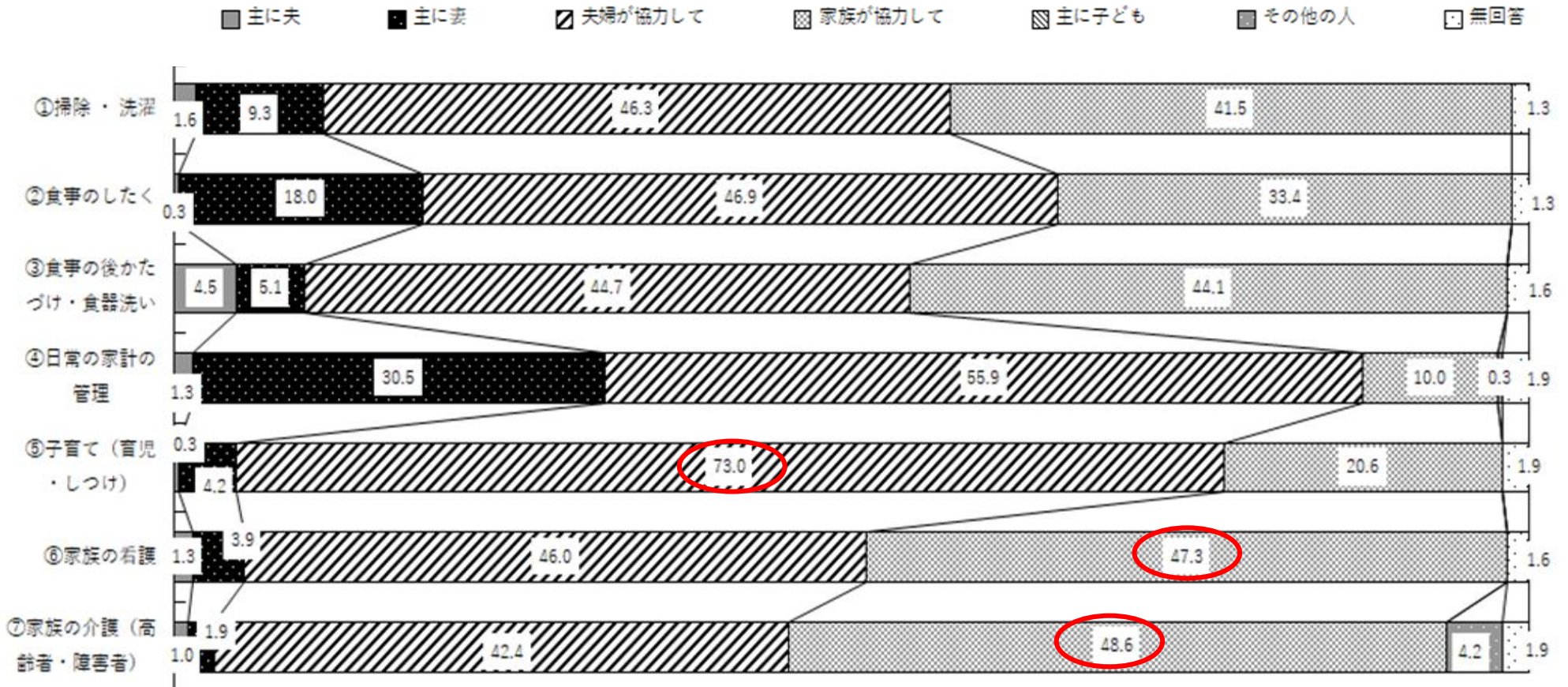


	問19.⑥ 結婚しない人や晩婚化は、経済的な理由である						
	全体	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらかといえ ば反対	反対	わからない	無回答
H25	399	107	108	29	26	108	21
	100.0	26.8	27.1	7.3	6.5	27.1	5.3
H30	381	94	103	25	20	122	17
	100.0	24.7	27.0	6.6	5.2	32.0	4.5
R6	311	113	92	8	16	74	8
	100.0	36.3	29.6	2.6	5.1	23.8	2.6

	問19.⑦ 男性はもっと家庭生活に参画すべき						
	全体	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらかといえ ば反対	反対	わからない	無回答
H25	399	169	171	11	1	28	19
	100.0	42.4	42.9	2.8	0.3	7.0	4.8
H30	381	179	136	8	3	41	14
	100.0	47.0	35.7	2.1	0.8	10.8	3.7
R6	311	158	105	3	2	35	8
	100.0	50.8	33.8	1.0	0.6	11.3	2.6

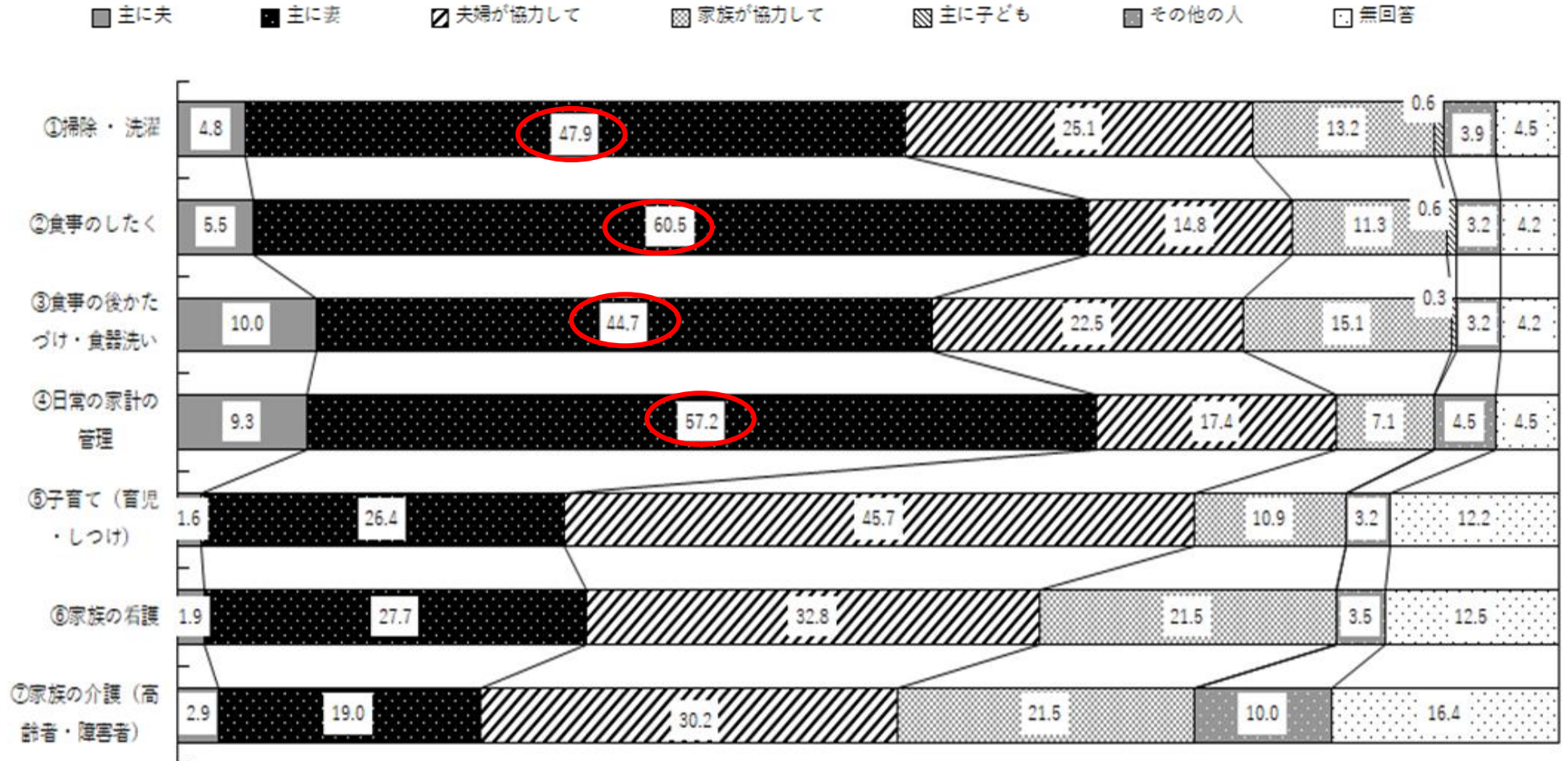
『子育て』の分担が求められている

全体では、夫婦で協力して分担したいものは「⑤子育て（育児・しつけ）」が73%と最も多く、家族が協力して分担したいのは、「⑥家族の看護」や「⑦家族の介護（高齢者・障害者）」で48%程度である。



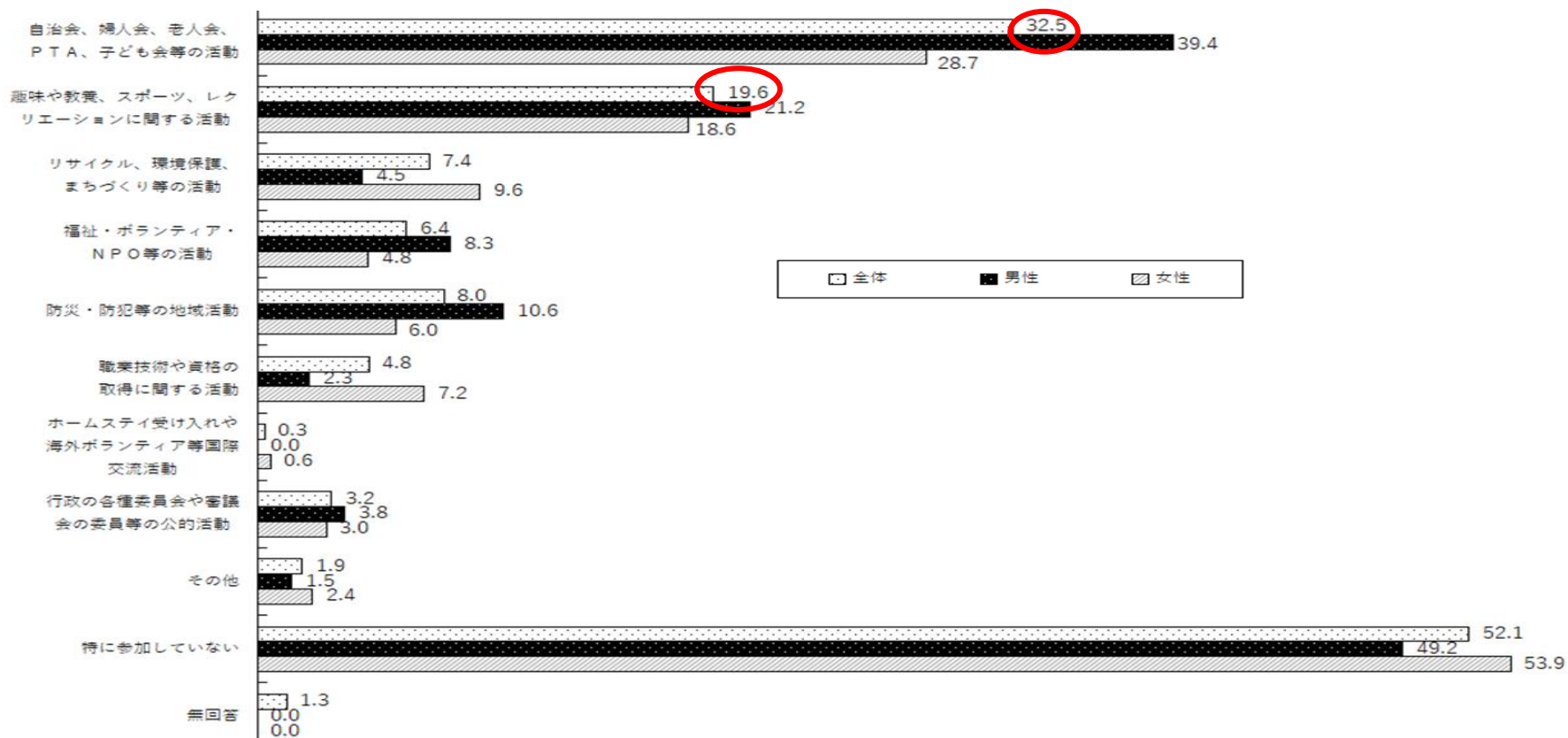
日常の家事のほとんどを『妻』が行っている

全体では、「①掃除・洗濯」「②食事のしたく」「③食事の後かたづけ・食器洗い」「④日常の家計の管理」を妻が分担していると約5～6割が回答している。



「自治会、婦人会、老人会、PTA、子ども会等の活動」が多い

全体では、「特に参加していない」が52.1%と半数を越えている。「自治会、婦人会、老人会、PTA、子ども会等の活動」は32.5%、「趣味や教養、スポーツ、レクリエーションに関する活動」が19.6%である。



	全体	自治会、婦人会、老人会、PTA、子ども会などの活動	趣味や教養、スポーツ、レクリエーションに関する活動	リサイクル、環境保護、まちづくりなどの活動	福祉・ボランティア・NPOなどの活動	防災・防犯などの地域活動	職業技術や資格の取得に関する活動	ホームステイ受け入れや海外ボランティアなど国際交流活動	行政の各種委員会や審議会の委員などの公的活動	その他	特に参加していない	無回答
H25	399	111	94	28	35	60	10	5	12	6	201	9
		27.8	23.6	7.0	8.8	15.0	2.5	1.3	3.0	1.5	50.4	2.3
H30	381	120	64	30	27	48	10	5	8	4	203	6
		31.5	16.8	7.9	7.1	12.6	2.6	1.3	2.1	1.0	53.3	1.6
R6	311	101	61	23	20	25	15	1	10	6	162	4
		32.5	19.6	7.4	6.4	8.0	4.8	0.3	3.2	1.9	52.1	1.3

「会議や行事等で女性が飲食の世話や後かたづけをすることが多い」が多い

全体では、「わからない」が53.1%と多く、「会議や行事等で女性が飲食の世話や後かたづけをすることが多い」は28.6%、「特に男女格差はない」が14.1%である。



	全体	会議や行事などで女性が飲食の世話や後かたづけをすることが多い	会議や行事などで女性が意見を言いにくい、意見を取り上げてもらいにくい	役員選挙に女性が出にくい、また選ばれにくい	地域の行事で女性が参加できないものがあるなど、男性と差がある	地域の活動に女性が少ないため歓迎される	地域の活動には女性の方が積極的に活発である	その他	わからない	特に男女格差はない	無回答
H25	399	191 47.9	27 6.8	37 9.3	8 2.0	21 5.3	47 11.8	3 0.8	120 30.1	52 13.0	10 2.5
H30	381	152 39.9	15 3.9	26 6.8	7 1.8	11 2.9	47 12.3	1 0.3	160 42.0	45 11.8	7 1.8
R6	311	89 28.6	24 7.7	27 8.7	10 3.2	10 3.2	22 7.1	0.0	165 53.1	44 14.1	4 1.3

認知度は7割以上、周囲の経験ありも2割弱

全体では、「一般的な知識として知っている」が73.3%と最も多く、「自分のまわりに経験した人がいる」は17.7%、「くわしくはわからないが、言葉としては聞いたことがある」が12.9%である。



	全体	自分が直接経験したことがある	自分のまわりに経験した人がいる	一般的な知識として知っている	くわしくはわからないが、言葉としては聞いたことがある	チラシやパンフレットなどで見たことがある	ドメスティック・バイオレンス(DV)のことを全く知らなかった	無回答
H25	399	26 6.5	33 8.3	257 64.4	77 19.3	44 11.0	7 1.8	34 8.5
H30	381	32 8.4	64 16.8	248 65.1	62 16.3	44 11.5	2 0.5	14 3.7
R6	311	22 7.1	55 17.7	228 73.3	40 12.9	29 9.3	1 0.3	11 3.5

相談先は「友人・知人」「家族・親せき」等が多い

全体では、「友人や知人に相談した」が40.0%と最も多く、「どこ(だれ)にも相談しなかった」は、31.4%である。



問26. DVについての相談(複数回答)

	全 体	家族や親せきに相談した	友人や知人に相談した	警察に連絡・相談した	法務局や県庁、役場などに相談した	女性相談支援センター(配偶者暴力相談支援センター)に相談した	こうち男女共同参画センター「ソレ」に相談した	医療関係者(医師・看護師など)に相談した	弁護士に相談した	その他	どこ(だれ)にも相談しなかった	無回答
H25	55	20 36.4	18 32.7	8 14.5	1 1.8	3 5.5	1 1.8	0 0.0	2 3.6	2 3.6	14 25.5	1 1.8
H30	88	28 32.2	24 27.6	6 6.9	1 1.1	1 1.1	1 1.1	1 1.1	4 4.6	8 9.2	31 35.6	3 3.4
R6	70	15 21.4	28 40.0	9 12.9	2 2.9	5 7.1	4 5.7	3 4.3	6 8.6	6 8.6	22 31.4	0.0

「自分さえ我慢すれば…」が多い

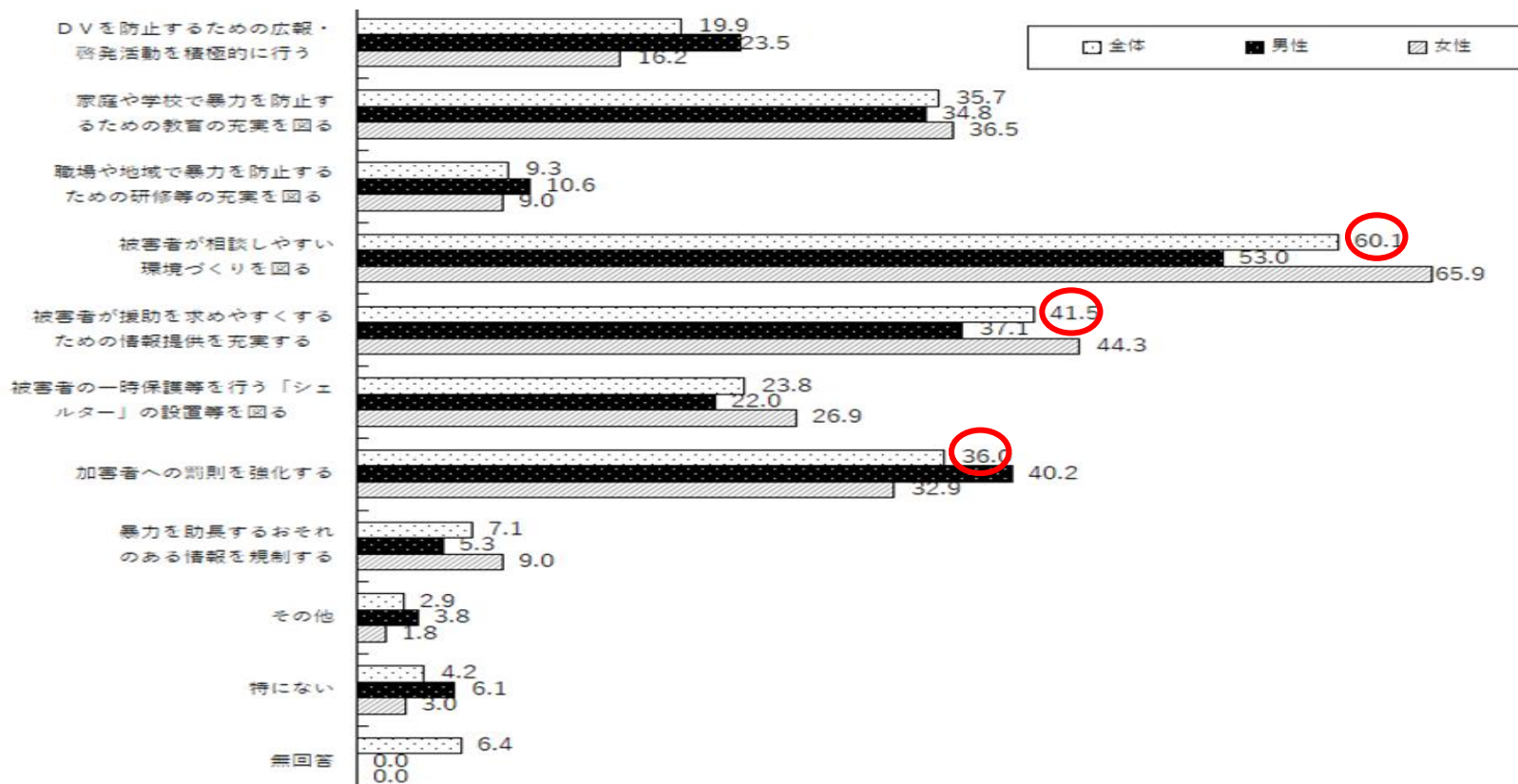
全体では、「自分さえ我慢すれば何とかこのままやっていけると思ったから」が27.3%と多く、「相談するほどのことではないと思ったから」22.7%、「相談しても無駄だと思ったから」「自分にも悪いことがあると思ったから」が18.2%と続く。



	全体	どこ(だれ)に相談してよいか、わからなかったから	恥ずかしくて誰にも言えなかったから	相談しても無駄だと思ったから	相談したことがわかると仕返しや、もっとひどいことをされるから	相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをすと思ったから	自分さえ我慢すれば何とかこのままやっていけると思ったから	世間体が悪いから	他人を巻き込みたくなかったから	そのことについて思い出さなかったから	自分にも悪いことがあると思ったから	相談するほどのことではないと思ったから	その他	無回答
H25	14	1 7.1	3 21.4	3 21.4	1 7.1	0 0.0	3 21.4	2 14.3	2 14.3	1 7.1	0 0.0	2 14.3	4 28.6	-
H30	31	4 12.9	5 16.1	9 29.0	4 12.9	-	5 16.1	3 9.7	3 9.7	1 3.2	4 12.9	7 22.6	3 9.7	2 6.5
R6	22	3 13.6	0 0.0	4 18.2	0 0.0	1 4.5	6 27.3	0 0.0	3 13.6	0 0.0	4 18.2	5 22.7	6 27.3	0 0.0

「被害者が相談しやすい環境づくりを図る」が多い

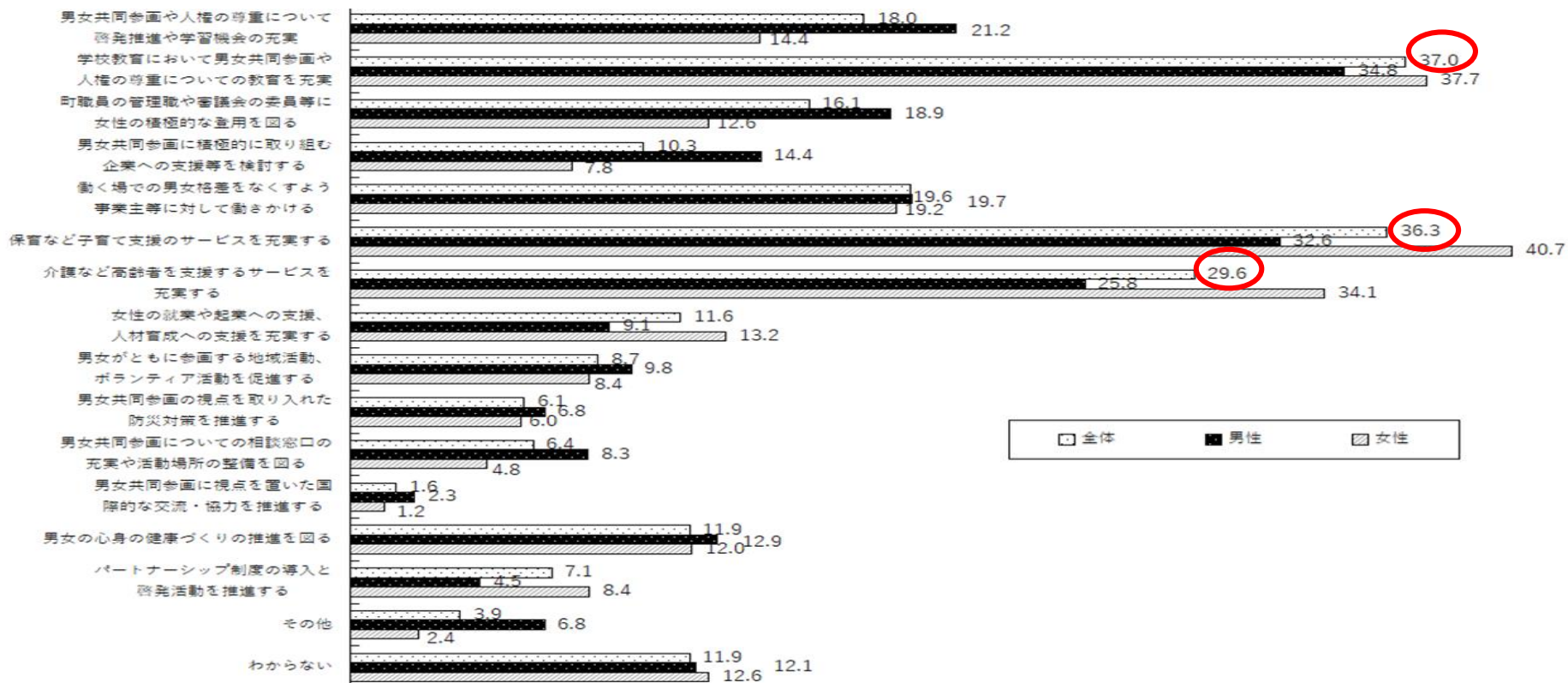
全体では、「被害者が相談しやすい環境づくりを図る」が60.1%と最も多く、「被害者が援助を求めやすくするための情報提供を充実する」が41.5%、「加害者への罰則を強化する」が36.0%と続く。



	全体	ドメスティック・バイオレンスを防止するための広報・啓発活動を積極的に行う	家庭や学校で暴力を防止するための教育の充実を図る	職場や地域で暴力を防止するための研修等を図る	被害者が相談しやすい環境づくりを図る	被害者が援助を求めやすくするための情報提供を充実する	被害者の一時保護等を行う「シェルター」の設置等を図る	加害者への罰則を強化する	暴力を助長するおそれのある情報(ビデオ・雑誌やインターネット等)を規制する	その他	特にない	無回答
H25	399	79 19.8	154 38.6	37 9.3	230 57.6	108 27.1	85 21.3	115 28.8	65 16.3	11 2.8	17 4.3	43 10.8
H30	381	66 17.3	129 33.9	47 12.3	240 63.0	118 31.0	87 22.8	109 28.6	43 11.3	12 3.1	17 4.5	24 6.3
R6	311	62 19.9	111 35.7	29 9.3	187 60.1	129 41.5	74 23.8	112 36.0	22 7.1	9 2.9	13 4.2	20 6.4

「学校教育において男女共同参画や人権の尊重についての教育を充実」が多い

全体では、「学校教育において男女共同参画や人権の尊重についての教育を充実」が37.0%「保育など子育て支援のサービスを充実する」が36.3%と多く、「介護など高齢者を支援するサービスを充実する」も29.6%と続いている。



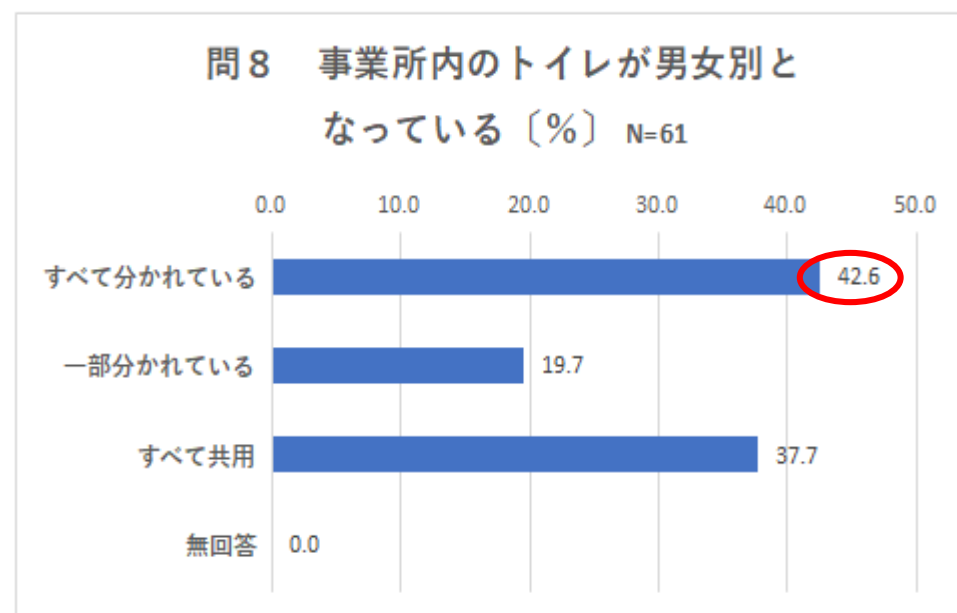
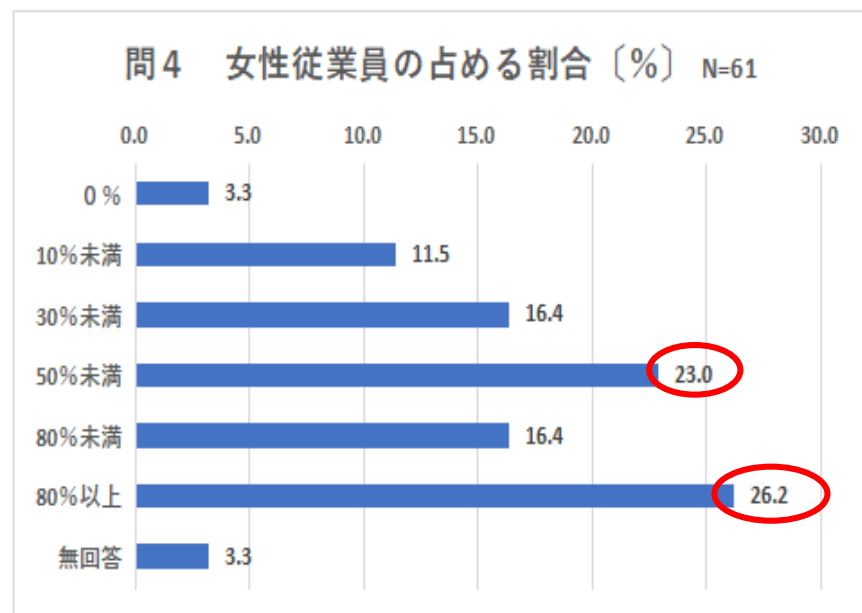
問31. 男女共同参画において今後、佐川町が力をいれていくべきこと(複数回答)

	全体	男女共同参画や人権の尊重について啓発の推進や学習機会の充実を図る	学校教育において男女共同参画や人権の尊重についての教育を充実する	町職員の管理職や審議会の委員などに女性の積極的な登用を図る	男女共同参画に積極的に取り組む企業への支援などを検討する	働く場での男女格差をなくすよう事業主などに対して働きかける	保育、家事、介護などの公的サービスを充実する	介護など高齢者を支援するサービスを充実する	女性の就業や起業への支援、人材育成への支援を充実する	男女がともに参画する地域活動、ボランティア活動を促進する	男女共同参画の視点を取り入れた防災対策を推進する	男女共同参画についての相談窓口の充実や活動場所の整備を図る	男女共同参画に視点を置いた国際的な交流・協力を推進する	男女の心身の健康づくりの推進を図る	パートナーシップ制度の導入と啓発活動を推進する	その他	わからない
H25	399	81 20.3	150 37.6	69 17.3	54 13.5	80 20.1	165 41.4	-	66 16.5	44 11.0	19 4.8	28 7.0	10 2.5	62 15.5	-	7 1.8	38 9.5
H30	381	61 16.0	104 27.3	45 11.8	42 11.0	80 21.0	127 33.3	121 31.8	57 15.0	42 11.0	14 3.7	31 8.1	10 2.6	63 16.5	-	3 0.8	47 12.3
R6	311	56 18.0	115 37.0	50 16.1	32 10.3	61 19.6	113 36.3	92 29.6	36 11.6	27 8.7	19 6.1	20 6.4	5 1.6	37 11.9	22 7.1	12 3.9	37 11.9

## 『トイレが男女別』は40%以上

女性従業員の割合は、「80%以上」が26.2%と最も多く、ついで「50%未満」（23.0%）、「80%未満」「30%未満」（いずれも16.4%）と続く。「0%」は3.3%となっている。

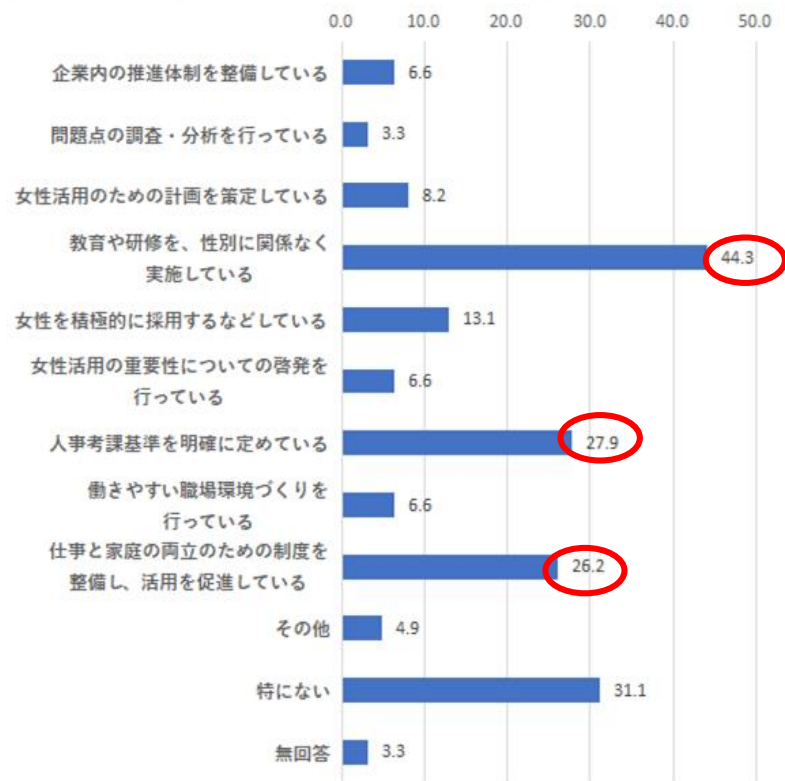
トイレの男女別は、「すべて分かれている」が42.6%と多く、ついで「すべて共用」（37.7%）、「一部分かかれている」（19.7%）と続く。



## 「教育や研修を、性別に関係なく実施している」が多い

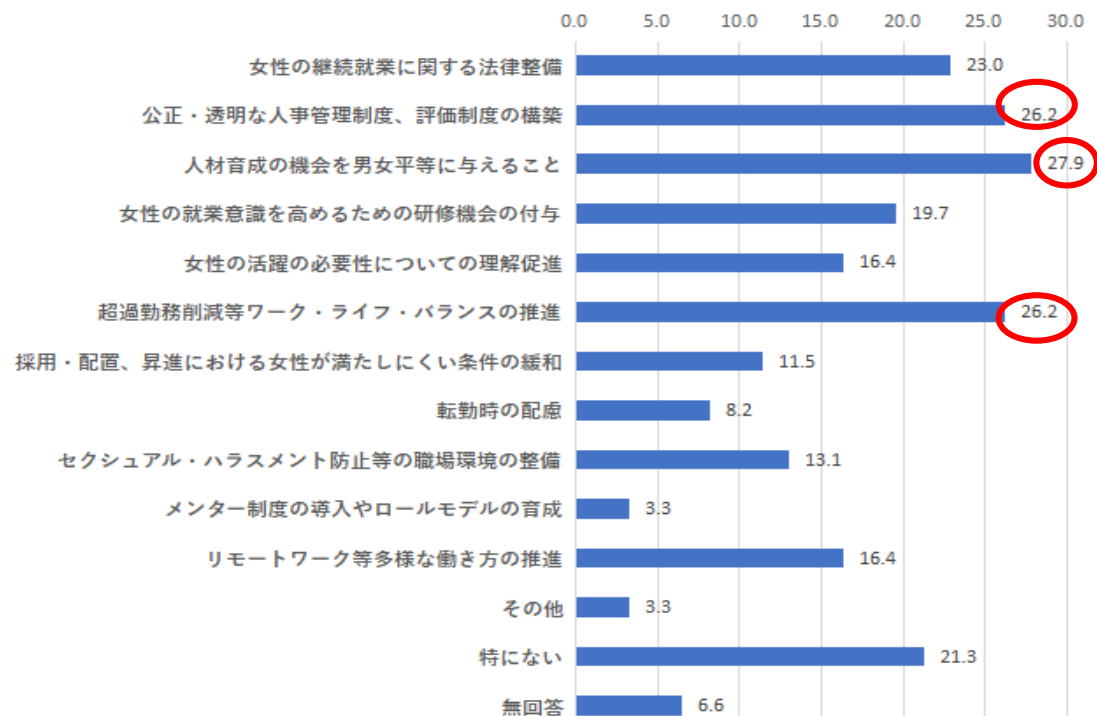
事業所の取組は、「教育や研修を、性別に関係なく実施している」が44.3%、「人事考課基準を明確に定めている」(27.9%)「仕事と家庭の両立のための制度を整備し、活用を促進している」(26.2%)、と続く。  
 必要な取組は、「人材育成の機会を男女平等に与えること」(27.9%)、「公正・透明な人事管理制度、評価制度の構築」「超過勤務削減等ワーク・ライフ・バランスの推進」(いずれも26.2%)と続く。

問10 取り組んでいること〔%・複数回答〕 N=61



問13 女性の活躍を推進する上で必要と考える取組

〔%・複数回答〕 N=61



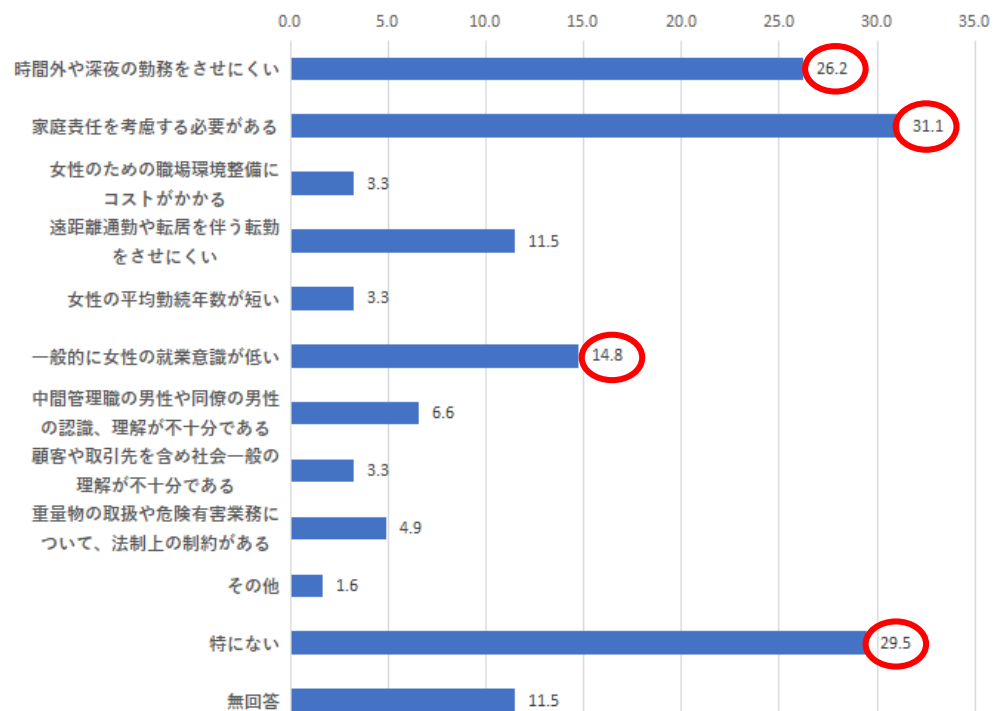
「家庭責任を考慮する必要がある」が多い

課題は、「家庭責任を考慮する必要がある」が31.1%と最も多く、「特にない」(29.5%)、「時間外や深夜の勤務をさせにくい」(26.2%)、「一般的に女性の就業意識が低い」(14.8%)と続く。

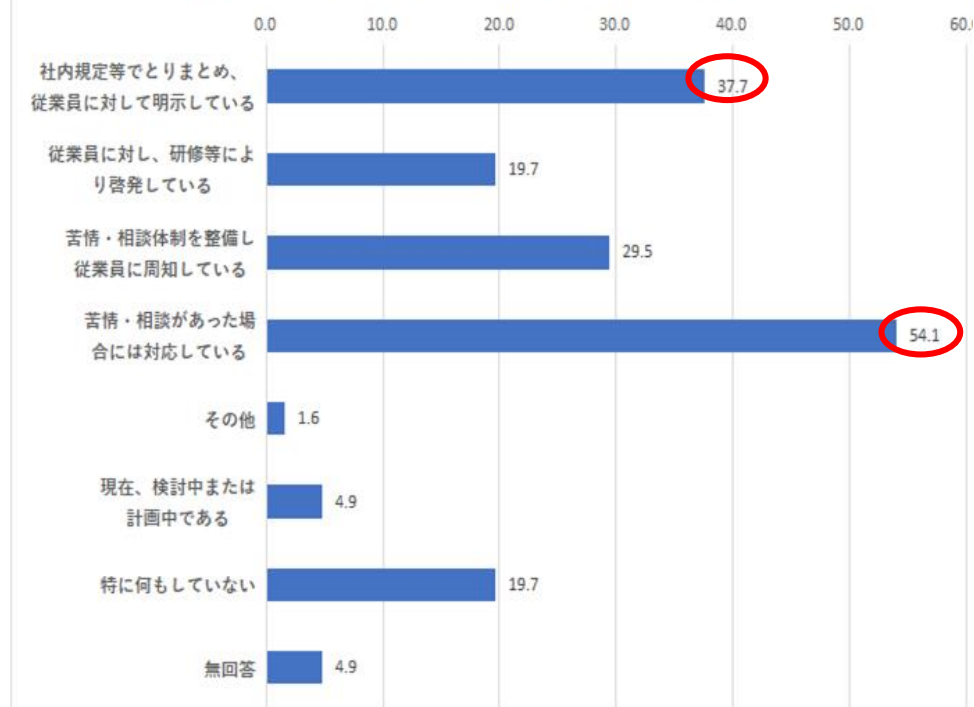
ハラスメントの防止策は、「苦情・相談があった場合には対応している」が54.1%と最も多く、「社内規定等でとりまとめ、従業員に対して明示している」(37.7%)と続く。

問20 女性の活躍を推進する上での課題

〔%・複数回答〕 N=61



問21 ハラスメント防止の取組〔%・複数回答〕 N=61



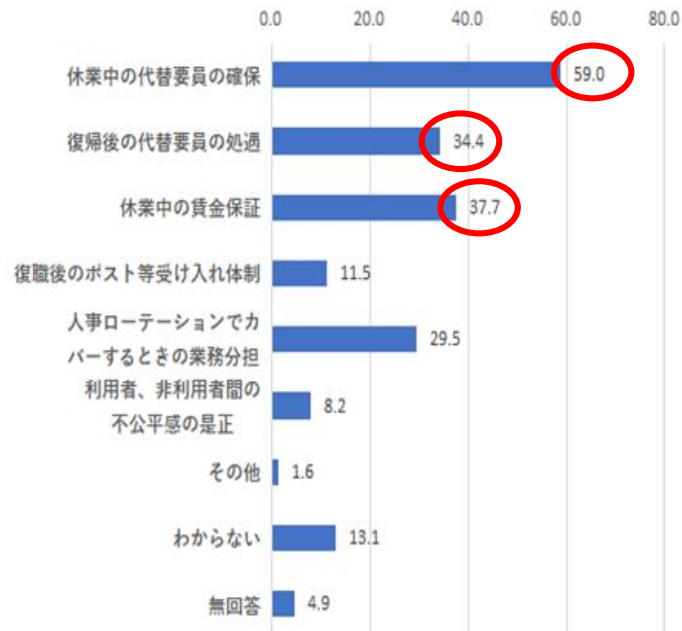
「保育、家事、介護等の公的サービスを充実する」が多い

各休業制度への課題は、「休業中の代替要員の確保」が59.0%と最も多く、「休業中の賃金保証」（37.7%）、「復帰後の代替要員の処遇」（34.4%）と続く。

佐川町の課題は、「保育、家事、介護等の公的サービスを充実する」が44.3%、「町職員の管理職や審議会の委員等に女性の積極的な登用を図る」（24.6%）、「男女共同参画に積極的に取り組む企業への支援等を検討する」「女性の就業や起業への支援、人材育成への支援を充実する」（いずれも23.0%）と続く。

問22 育児・介護（看護）休業制度の定着に向けた課題

[%・複数回答] N=61



問23 男女共同参画を積極的に進めるために力を入れていくこと (%・複数回答) N=61

0.0 5.0 10.0 15.0 20.0 25.0 30.0 35.0 40.0 45.0 50.0

